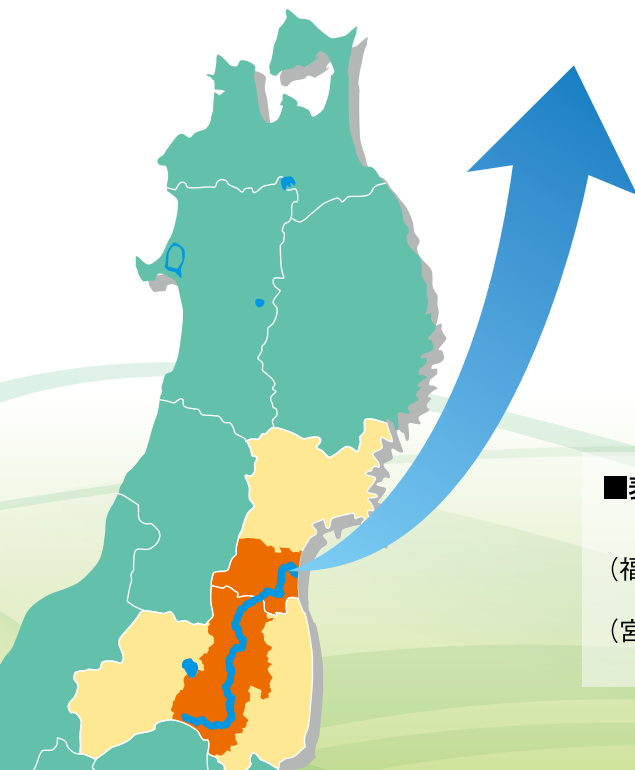
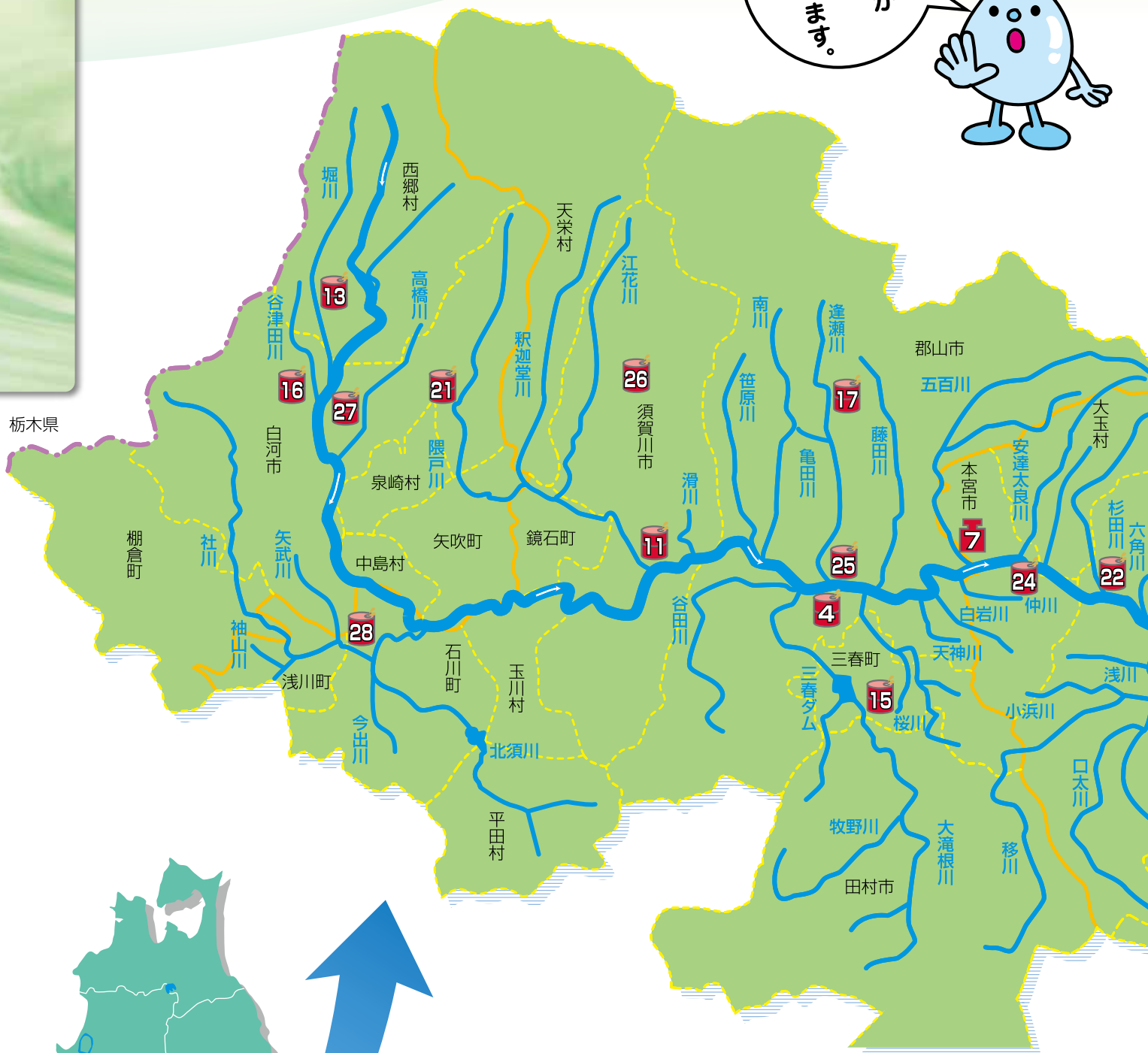


令和3年(2021)

阿武隈川水系 水質事故発生マップ

忘れないでください、
その水が川から来ていること

阿武隈川水系 水質事故発生マップ

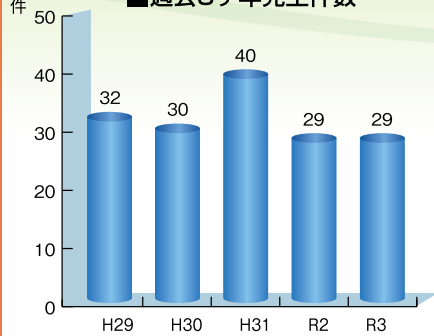


表示の内容

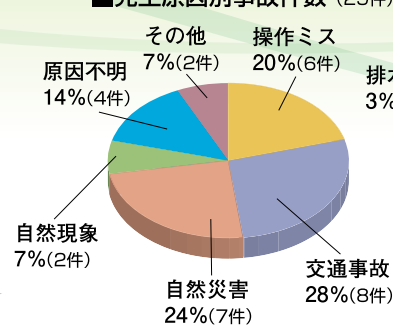
	油類	排水・汚泥等	化学物質	不明	自然現象	
(福島県)						地図上の位置 河川名 発生市町村名
(宮城県)						

	市町村界
	地域界
	県境
	主な河川 及び川の流れ

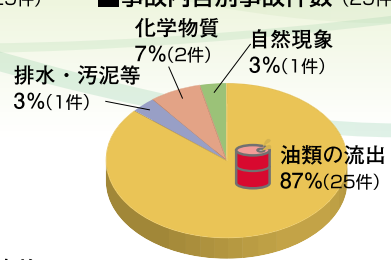
■過去5ヶ年発生件数



■発生原因別事故件数 (29件)



■事故内容別事故件数 (29件)



阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会とは…

本協議会は、水質調査や水質汚濁・河川環境の保全に関する資料及び情報の交換、水質事故等の緊急時の情報連絡、その他水質汚濁対策・河川環境保全の推進に必要な連絡調整を目的として昭和46年3月に設立されました。

構成機関は、国土交通省・経済産業省・福島県・宮城県・阿武隈川流域市町村及び消防本部で構成されています。

事故発生河川
及び事故内容

(抜粋)

1 鍛冶屋川に流入する水路 (福島市)

- ① 油類
- ② 令和3年1月20日
- ③ 福島市役所環境課より連絡があり、佐原小学校より灯油の流出を確認。小学校の灯油管(フレキシブル管)が凍結により破損、灯油が水路を経由して鍛冶屋川へ流出。発生箇所より下流1km付近から須川合流点まで油臭・油膜は確認されない。市・県で吸着マットフェンス設置済。国で鍛冶屋川に吸着式オイルフェンス設置。福島市で鍛冶屋川に流入する水路、学校内側溝・配管の清掃

2 木幡川に流入する水路 (二本松市)

- ① 油類
- ② 令和3年2月4日
- ③ 二本松市より連絡があり、二本松市木幡仲之内地内の県道二本松川俣線にて自動車交通事故よりエンジンオイルの流出(1~2リットル)を確認。側溝を伝って直近に木幡川があり、市と消防で水路及び木幡川に吸着マット設置し対応。

3 広瀬川に流入する水路 (川俣町)

- ① 排水・汚泥等
- ② 令和3年2月7日
- ③ 川俣町鶴沢字鍛冶内内地内 道路側溝において、白濁物の流出があると住民から川俣町に通報あり。和菓子店の工場の作業員が一般廃棄物として廃棄すべき生クリームを廃棄業者に処分を依頼せずシンクに流して廃棄したため流出。町で側溝に土盛をして流出防止措置。回収。

4 阿武隈川に流入する水路 (郡山市)

- ① 油類
- ② 令和3年2月14日
- ③ 郡山地方消防本部より連絡 郡山市富久山町堂坂地内 阿武隈川本川において、油膜が発見されたとの事。上流4kmにある安原第三樋管からの流出を確認。樋管の100m上流にあるビニールハウスにて燃料タンク配管が地震で切断し、重油が一部流出。出張所及び市で樋管閉鎖、オイルフェンス、吸着マット設置により対応。

5 高根川に流入する水路 (川俣町)

- ① 油類
- ② 令和3年2月14日
- ③ 川俣町字小作地内において、ホームタンクが転倒し灯油10%程度が洩れ、道路側溝に流出したと川俣町より連絡。側溝内で止まっており河川への流出はない。町と伊達消防署で側溝にオイル吸着マットを設置し回収。

6 高根川に流入する水路 (川俣町)

- ① 油類
- ② 令和3年2月14日
- ③ 伊達消防本部より連絡があり、川俣町大字小綱木字一ノ関地内の個人宅のホームタンクの下に油溜まりに灯油が流出。約5m離れた側溝に入り、側溝内で灯油の流れは止まっており河川への流出はない。町と伊達消防署で側溝にオイルフェンス、吸着マットを設置し回収。

7 五百川に流入する水路 (本宮市)

- ① 化学物質
- ② 令和3年2月14日
- ③ 福島県水大気環境課より連絡があり本宮市荒井字上前畑地内ビール工場において不凍液(プロピレングリコール)が場外に流出との情報が入った。地震により、配管の継ぎ目から不凍液が流出し、場外の雨水側溝に流出。原因者において敷地内水路の不凍液を回収。流出した不凍液は毒性はさわめて低いとの見解。

8 佐久間川に流入する水路 (桑折町)

- ① 油類
- ② 令和3年2月18日
- ③ 伊達地方消防本部より連絡 桑折町谷地字稲荷地内 佐久間川において、油膜が発見。上流にある園芸会社のビニールハウスの重油タンクから地震の際の揺れでオーバーフローし、土に染みこんだ重油が佐久間川に流入する道路側溝に浸みだしてきたものとみられる。出張所、県、消防でオイルフェンス設置、吸着マットによる回収を行い。原因者で染みこんだ土砂を掘削し吸着マットで回収を実施

9 佐久間川に流入する水路 (桑折町)

- ① 油類
- ② 令和3年3月12日
- ③ 伊達地方消防本部より連絡 桑折町大字谷地字川上地内の個人宅から灯油が流出。佐久間川で油膜が発見。先月の地震で民家のホームタンクが転倒。すぐに起こしたが、漏れた灯油が浄化槽に混入。浄化槽の点検の際に、内部の灯油を含んだ水が佐久間川に流出。タンク容量は150リットルであったが、流出した灯油の量は不明。先月佐久間川に設置済みのオイルフェンスにて回収する。発生場所では、伊達消防で油を除去しており、現在は流出なし。

10 阿武隈川に流入する水路 (福島市)

- ① 油類
- ② 令和3年3月17日
- ③ 福島市より連絡 福島市瀬上町薬師前地内の事業所敷地に中古ファンヒーターを野積していたところから灯油が漏れ水路に流出したとの事。福島市消防、福島市で現地対応確認。発生源周辺の水路に吸着マット設置済。福島市で流末を追跡したところ、阿武隈川につながる瀬上第二樋管につながる。伏黒出張所で、樋管の堤外水路にオイルフェンス設置して回収した。

11 阿武隈川に流入する水路 (須賀川市)

- ① 油類
- ② 令和3年3月30日
- ③ 郡山出張所河川巡視員より連絡 樋管の巡視時に昭和町樋管吐出口で油膜を発見。消防、市に連絡。出張所現地確認。樋管ゲート閉鎖。樋管堤外水路に吹流型オイルマット設置済。新たな流出は確認されない。発生源については上流域を調査したが不明。

12 阿武隈川に流入する水路 (福島市)

- ① 自然現象
- ② 令和3年4月7日
- ③ 一般の方から連絡 福島市渡利八幡町地内 阿武隈川本川右岸 渡利大橋上流 堀切川樋門で油膜が確認。国交省(伏黒出張所)、福島市消防、福島市で発生源調査中。伏黒出張所で、樋門の背後にオイルフェンス設置を準備中。

13 堀川に流入する水路 (西郷村)

- ① 油類
- ② 令和3年4月8日
- ③ 通報者宅の敷地内の農業用水路にて油のようなものが流れていると通報があった。振興局が確認したところ、一部が白濁した水が流れていたとのこと。現在、県南地方振興局で農業用水路にてオイルマットでせき止めている状況。河川への流出の跡は見られなかった。

14 糠田川に流入する水路 (伊達市)

- ① 油類
- ② 令和3年5月6日
- ③ 伊達市月舘町月舘字川向地内の国道349号線にて自動車交通事故よりエンジンオイルの流出(1~2リットル程度)を確認。糠田川へ一部流出。

15 八島川に流入する水路 (田村郡)

- ① 油類
- ② 令和3年5月14日
- ③ 田村郡三春町御祭字橋本地内の県道三春石川線にて自動車横転交通事故よりガソリンの流出(20リットル程度)を確認。水路に一部流出。水路内に油膜あり。三春町と三春土木事務所で水路内にオイルマットを設置した。

16 石阿弥陀川に流入する水路 (白河市)

- ① 油類
- ② 令和3年5月21日
- ③ 県道伊野野白河線にて乗用車が単独事故で縁石に衝突事故あり。エンジンオイルの流出(4リットル程度)を確認、側溝に一部流出した。消防で道路上のオイルはACライト、側溝のオイルはオイルマット、オイルキャッチャーで回収した。県南地方振興局で河川への流入口にオイルマットを設置した。漏洩油の一部は側溝より石阿弥陀川に入り、その油膜が川岸の一部に見られたが、降雨のため河川の水量が多く、その先の藤野川との合流地点では油膜等は確認されなかった。

17 馬場川に流入する水路 (郡山市)

- ① 油類
- ② 令和3年5月26日
- ③ 郡山市片平町鹿島地内にて4tダンプトラックと乗用車の衝突事故あり。ダンプトラック、乗用車ともに横転し、ダンプトラックよりエンジンオイルの流出(数リットル程度)を確認、用水路に一部流出した。郡山市、郡山市消防で吸着マットで回収中。400m先に馬場川があるが、河川への流出は確認されなかった。

18 西根堰付近の河川 (福島市)

- ① 油類
- ② 令和3年6月1日
- ③ 発生源の西根上堰から西根下堰の間にて油のようなものが流れていると通報があった。消防、県北建設事務所が確認したところ灯油のようなもので油臭があるものが確認された。現在、県北建設事務所にて取水堰の取り入れ口にオイルフェンスを設置、県北建設事務所、福島市消防本部で吸着マットを敷きせき止めている状況。

19 八反田川に流入する水路 (福島市)

- ① 油類
- ② 令和3年6月4日
- ③ 福島市飯坂町平野上吉原7-7地内の食品会社にて植物油が流出。植物油を貯留するタンクより植物油がオーバーフローして流出した。油種・流出量は天ぷら油(廃油)・量は調査中。流出元は除去・処理済み。新たな流出はなし。八反田川に一部流出。油膜油臭あり。

20 小国川に流入する水路 (伊達市)

- ① 油類
- ② 令和3年6月17日
- ③ 伊達市霊山町下小国字馬場38-2地内の住宅ホームタンクから灯油の流出が確認された。現在、流出元は処置済みで流出はないが地盤に染みこんでいる模様。付近の側溝に油膜が確認され、土のう・吸着マットで油は除去済み。付近の水田にも油膜が確認されたため、吸着マットで除去済み。

21 隅戸川 (白河市)

- ① 油類
- ② 令和3年8月18日
- ③ 白河地方消防本部より連絡があり、白河市大信増見字川田30地内における10tトラックによる単独交通事故(近くの畑に横転した。事故発生日時8月18日4時59分頃)により、10tトラックから軽油(最大50%程度)の流出が確認された。側溝にもその一部が流出したため、吸着マットで対応している。近くの隅戸川への流出は確認されていない。現在、流出先の側溝には吸着マット処置済みである。また、白河地方消防・白河市・県南地方振興局で現地確認を行った。

22 羽石川 (二本松市)

- ① 油類
- ② 令和3年8月19日
- ③ 二本松市東裏地内の国道4号での大型トラックと普通車による交通事故により、軽油(最大255リットル)が流出したと安達地方広域行政組合消防本部及び二本松市より連絡があった。二本松市でオイルマット設置中

23 弘川 (二本松市)

- ① 化学物質
- ② 令和3年8月31日
- ③ 発生源で業者がアルカリ洗剤でのすすぎ水が流出。その洗い水(一部が白濁している)が排水路から弘川に流れ出た。県によるパケットテスト結果、工場の水処理施設・工場内水路のPH9.5以上、弘川では7.5。アルカリ性洗剤が混合したすすぎ水が河川水と混ざり中和された模様。

24 水路 (本宮市)

- ① 油類
- ② 令和3年9月16日
- ③ 9月15日(水)午後至高木樋管水路上流約500mにある食品工場で工場解体工事を行った際に、地下にある重油タンク配管を切断した際に、重油(最大で約100リットル)が流出した模様。配管元バルブを閉めて破損した配管付近周辺に土のう・吸着マット設置し、新たな流出はなくなり、事業者は敷地内で収まったと考え通報しなかった。昨夜からの雨で周辺にあった油が流出した模様。発生源～高木樋管までの水路(側溝)へは吸着マット等設置済み。

25 愛宕川 (郡山市)

- ① 油類
- ② 令和3年9月17日
- ③ 富久山町久保田郷花地内解体作業をしている中、重油の移送管の破損により重油流出した。郡山市で流出先である愛宕川の石鼻橋付近にオイルフェンスを設置し、吸着マットでオイル回収作業の実施。国土交通省郡山出張所で愛宕川の釜沼樋管側にオイルフェンスを設置し、吸着マットでオイル回収作業の実施をした。16:50設置完了。釜沼樋管のゲートは全開した。流出源である移送管からの新たな流出はない。

26 水路 (須賀川市)

- ① 油類
- ② 令和3年10月3日
- ③ 須賀川市松塚字上城を流れる稲川にて油流出の連絡が一般の方からあった。須賀川土木事務所にて流出元付近の水路と稲川の合流点付近、稲川と釈迦堂川合流点の直上流、釈迦堂川の国道4号直上流の計3箇所にオイルフェンスと吸着マットを設置済。稲川にて油膜を確認したが、釈迦堂川では油膜は確認されていない。

27 本川 (白河市)

- ① 油類
- ② 令和3年11月9日
- ③ 11月10日(水)11:21頃福島県水・大気環境課より連絡があり、白河市町田地内の阿武隈川の河道掘削工事(福島県発注)で、9日(火)のお昼頃、計画河床まで掘削していたところ、堤防側より油がしみ出しているのを発見。その後、応急対応として締め切りを実施。10日(水)に県南建設事務所で現地確認したところ、河川内にいると油類の臭いを確認。締め切り内に油類の油膜も確認のため、吸着マットで回収を実施。

28 社川 (石川郡)

- ① 油類
- ② 令和3年12月16日
- ③ 12月16日(木)8:08頃発生 13:12頃福島県水・大気環境課より連絡があった。石川郡石川町大字沢井字真明地内の道路で軽自動車1台電柱に衝突し片輪が道路側溝に落下する交通事故(単独事故)により、車両前方が破損し、エンジンオイルが道路側溝へ一部流出した(流出量不明)。消防及び県の石川土木、石川町で道路側溝において、土嚢によるせき止め、オイルマットの設置をして対応した。その地点上流では油膜は確認されたが、下流域においては確認できなかった。事故車両は撤去済みのため、新たな流出はなく、付近の河川である社川への流出もない。

■表示の内容

油類 排水・汚泥等 化学物質 不明 自然現象
(福島県) 1 1 1 1 1

- ①……水質事故の種類
- ②……発生日月
- ③……水質事故の概要



1 笠島川 (角田市)

- ① 油類
- ② 令和3年2月14日
- ③ 農業用機材に使用する軽油を保管するホームタンクが地震により破損し流出

■表示の内容

油類 排水・汚泥等 化学物質 不明 自然現象
(宮城県) 1 1 1 1 1

- ①……水質事故の種類
- ②……発生日月
- ③……水質事故の概要

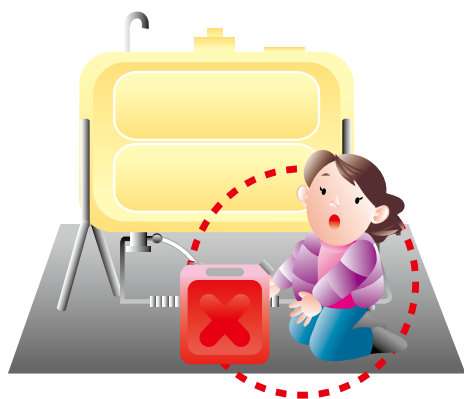
タンクからの 油流出事故にご注意!

一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流出する事故が増えています。その多くは、うっかりミスや故障などが原因です。給油中は目を離さず、また配管などの定期点検に努めましょう。

ご家庭のホームタンクは大丈夫?

流出事故を防ぐための心掛け

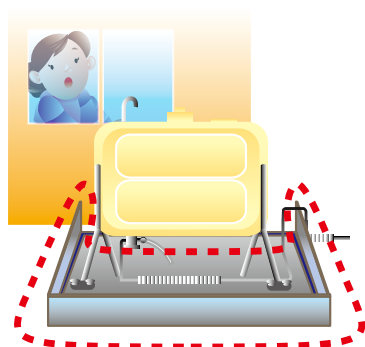
① その場を離れない



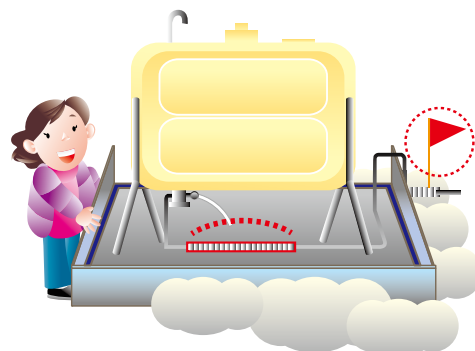
② 定期点検を怠らない



③ 防油堤設置で安心



④ 配管場所には目印を



ホームタンクからの 油流出事故にご注意!



油の流出などの水質事故により設置したオイルフェンスや油吸着マットなどの設置経費は、原因者の負担となります。

💧 水質事故とは

川に油や化学薬品などが流れ出ると、水が臭くなったり、魚が死んだり、水が使えなくなったりします。また油の量が多いと火災のおそれもあります。

💧 水質事故の傾向

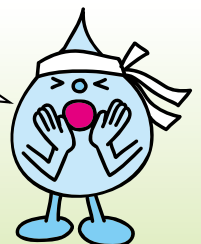
事業所では施設の劣化、保管状況の点検不備、機械類の操作ミスによる油等の流出があります。一般家庭では暖房用灯油ホームタンクの栓の閉め忘れや、交通事故等を原因として水質事故が発生しています。

不注意から水質事故になることが多いので、日頃の点検や作業手順の確認をして水質事故を防ぎましょう。

発生もしくは
発見したら

水質事故

被害を
最小限に



直ちに仙台河川国道事務所・福島河川国道事務所や宮城県(土木事務所)・福島県(地方振興局)・市町村・消防署・警察署へご連絡ください。



川へのやさしさは、 人へのやさしさです。


あなたの捨てた水を、下流の人々が利用しています。

あなたは、汚していませんか？ 大切な水を…。

暮らしの中で出される「生活排水」を、魚の棲めるきれいな水にするためには、これだけの水が必要です。あなたは、自然に大きな負荷をかけていませんか。

 <p>味噌汁 (200ml) 1,500ℓ必要 (浴槽5杯分)</p>	 <p>お米のとぎ汁 (約2ℓ) 1,200ℓ必要 (浴槽4杯分)</p>	 <p>牛乳 (200ml) 3,000ℓ必要 (浴槽10杯分)</p>	 <p>日本酒 (1合・180ml) 7,200ℓ必要 (浴槽24杯分)</p>	 <p>そして 使用済み天ぷら油 (500ml) 99,000ℓ必要 (浴槽330杯分)</p>
---	--	---	---	---

私たちは、知らない間に川を汚しています。家庭から出る生活排水は、污水处理施設(下水道・集落排水・合併浄化槽)へ流しましょう。

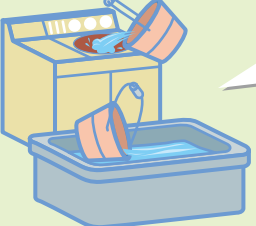


料理に使った揚げ油を流すのは、汚染の原因です。
油を分解するためには、大量の水と時間が必要です。

対策 油はグル状に固め、ゴミと一緒に捨てましょう。

味噌汁、米のとぎ汁も汚染の原因です。
あたりまえのように、排水口に捨てていませんか？

対策 食べ残しをしないよう心がけましょう。また、無洗米を使うと、とぎ汁が出ません。



節水のため、お風呂の残り湯を使いましょう。
お湯で洗うと洗浄力もアップします。また、洗剤はリンを含まないものを使いましょう。

ポイント 汚れていないお湯は、捨てずに沸かして2度使いましょう。

排水口に古いストッキング、細かいゴミも取り除きます。
ちょっとした工夫が、美しい水環境を守ります。

ポイント 下水に流れ込んだゴミは、ネズミ等の発生を促す原因となり、家庭環境への影響も懸念されます。

図画部門 特選

令和3年度

上流部
[白河市] 梁瀬琴乃さん



下流部
[白石市] 四電 桜さん

ポスタ部門 特選

上流部
[平田村] 吉田妃華さん



下流部
[白石市] 制野心春さん

四季輝く 阿武隈川



阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会

上流支局事務局
国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
〒960-8584 福島県福島市黒岩字榎平36
TEL (024) 546-4331

下流支局事務局
国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
〒982-8566 宮城県仙台市太白区あすと長町四丁目1-60
TEL (022) 248-4131